

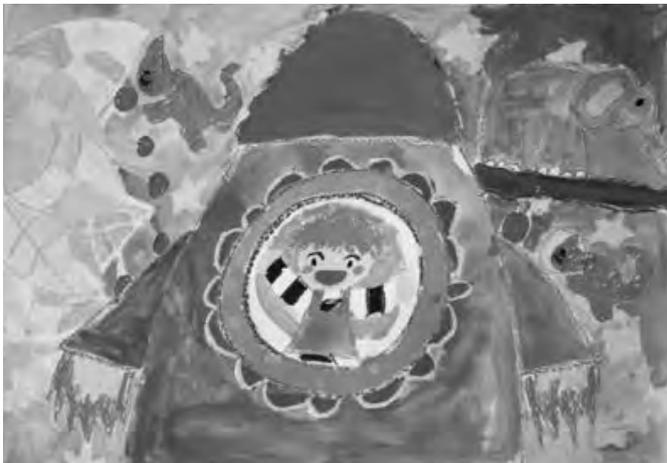
# 北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会  
会長 小熊 剛彰  
事務局長 山口 朱美  
<https://hokkaido.sla.gr.jp>  
印刷所 (株) 有伸商会  
TEL (011)814-6211

## 第37回 読書感想画中央コンクール 審査終了 第13回 読書感想画全道コンクール

第37回読書感想画中央コンクール・第13回読書感想画全道コンクールの審査が、1月5日(月)、毎日新聞社北海道支社で行われました。今年も全道からたくさんの作品が応募されました。小学校低学年・小学校高学年・中学校の3部門から、最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞の作品が選ばれました。

小学校低学年の部



「スペースシャトルにのってゆめのせかいを見てるモリス」  
札幌市立美香保小学校3年 薩如楽 賽 罕  
『モリスくんとオレンジいろのドレス』世界文化社(クリスティーン・バルダチノ/作 前沢明枝/訳)

### 最優秀賞

中学校の部



「カラフルな自分」  
札幌市立新陵中学校3年 鎌田 美輝  
『カラフル』文春文庫(森 絵都/著)

小学校高学年の部



「不思議な森の入口」  
岩見沢市立岩見沢小学校6年 氏家 結 菜  
『ドアのむこうの国へのパスポート』岩波書店(トンク・ドラフト&リンデルト・クロムハフト/著)

# 最優秀賞・優秀賞・優良賞 受賞者一覧

## 《最優秀賞》

- ※スペースシャトルにのってゆめのせかいをみるモリス
- ※不思議な森の入口
- ※カラフルな自分

|             |    |     |     |
|-------------|----|-----|-----|
| 札幌市立美香保小学校  | 3年 | 薩如楽 | 賽 罕 |
| 岩見沢市立岩見沢小学校 | 6年 | 氏 家 | 結 菜 |
| 札幌市立新陵中学校   | 3年 | 鎌 田 | 美 輝 |

## 《優秀賞》

- ※やどかりぼうや、よかったね。
- ※60人めのきこり
- ※鳥がまた羽ばたく日
- ※12のぼうけん前のG氏～出会いのしゅんかん～
- ※夢を信じていれば必ず実現する。
- ※ミルクキーウェイ

|              |    |     |     |
|--------------|----|-----|-----|
| 東川町立東川第三小学校  | 2年 | 阿 部 | 陽 斗 |
| 別海町立上風連小学校   | 2年 | 早 坂 | 周 平 |
| 岩見沢市立岩見沢小学校  | 4年 | 佐々木 | 政 知 |
| 室蘭市立天神小学校    | 6年 | 鷺 見 | はるか |
| 札幌市立新陵中学校    | 1年 | 伊 藤 | 凛   |
| 市立札幌開成中等教育学校 | 1年 | 小笠原 | さくら |

## 《優良賞》

- ※ねこがいっぱい
- メグとアッシュはたまごをもっている
- みんなと楽しくスペースあそび
- くまがめいっぱいのくに
- タク、よかったね。
- ふしぎなせかい
- 人間と動物の共存
- なんとしても守ろう
- 私の気になるあの子
- 夜は短し歩けよ乙女
- 色づいた世界
- 死にたがり

|             |    |     |     |
|-------------|----|-----|-----|
| 札幌市立平岡公園小学校 | 1年 | 木 村 | 環 花 |
| 札幌市立屯田小学校   | 1年 | 野 村 | 優 多 |
| 札幌市立美香保小学校  | 3年 | 木 山 | 悠 理 |
| 札幌市立平岡公園小学校 | 1年 | 佐 藤 | 綾 音 |
| 栗山町立継立小学校   | 4年 | 水 野 | 琥 珀 |
| 苫小牧市立沼ノ端小学校 | 4年 | 鈴 木 | いちか |
| 増毛町立増毛小学校   | 5年 | 佐 藤 | こころ |
| 増毛町立増毛小学校   | 5年 | 堀 井 | 蒼 太 |
| 札幌市立新陵中学校   | 1年 | 細 矢 | 苺 花 |
| 旭川市立愛宕中学校   | 2年 | 矢動丸 | 友希乃 |
| 旭川市立愛宕中学校   | 2年 | 小笠原 | 唯 人 |
| 札幌市立新陵中学校   | 2年 | 佐々木 | 二 葉 |

## 《学校賞》

- 小学校の部 札幌市立美香保小学校
- 中学校の部 札幌市立新陵中学校
- 高等学校の部 該当なし

※=全国行き作品

第37回読書感想画中央コンクール・第13回読書感想画全道コンクール【総評】

## 素敵な本との出会いから自己表現する喜びを

北海道造形教育連盟 櫻田 悟  
(札幌市立手稲山小学校 校長)

第13回読書感想画全道コンクールには、小学校1年生から中学校3年生まで、462点の作品が寄せられました。

当日の審査会では、子どもたちが素敵な本と出会い、そこから感じ取った思いを自分なりに表現していく数々の作品に触れることができ、心がとても豊かになるひとときとなりました。

低学年の作品からは、お話の中からお気に入りの場面を見つけて表したり、物語から想像したことを次々と画面に描いたりする姿が伝わってきました。夢中になって描きながら、お話の世界を自分なりに広げていく様子が感じられ、見ていて楽しくなる作品が多く見られました。

高学年になると、物語の主題を深く読み取り、自分が表現したいことを構想しながら描いている作品が多く見られました。印象に残った場面のイメージをさらに膨らませ、色使いや場面構成を工夫し、これまでに身に付けた表現方法を生かして自分らしく表そうとする思いが強く伝わってきました。

中学校の作品では、物語の世界観を深く読み解き、自らの解釈を加えながら主題を捉え、豊かな描画力や個性ある構成によって、作品に込めた思いを観る人に伝えようとする姿勢が感じられました。

学年が上がるにつれて応募数が減少していることは残念ですが、小学校から高校までを対象とする本コンクールは、読書を通じた自己表現の大切さを実感できる貴重な機会です。今後も多くの参加が期待されます。

「読書感想画」を描くことは、物語と読み手の間に生まれた思いを、言葉だけでなく絵を通して表現する大切な機会です。さらに、その表現が認められ、価値付けられることによって、子どもたちの自己肯定感はより一層高まっています。

おわりに、本コンクールに関わってくださった保護者の皆様、学校の先生方の温かいご理解と熱心なご指導に心より感謝申し上げます。また、主催する北海道学校図書館協会ならびに毎日新聞社の継続的な取組に深く敬意を表します。

今回の取組をきっかけとして、子どもたちがこれからも読書に親しみ、素敵な本と巡り合いながら豊かな情操を培うとともに、自己を表現することが大好きな子どもたちに育っていくことを願っています。

# 奨励賞 受賞者一覧

## 奨励賞(小低)

|                   |                    |                    |
|-------------------|--------------------|--------------------|
| 札幌市屯田小 1年 下川 真司   | 札幌市平岡公園小 1年 大槻 亮太  | むかわ町鶴川中央小 2年 原 美葉  |
| 札幌市屯田小 1年 柿木理莉嘉   | 札幌市平岡公園小 1年 千葉 大誠  | むかわ町鶴川中央小 2年 佐藤 三葉 |
| 札幌市屯田小 1年 宮野 奏    | 札幌市平岡公園小 1年 山田 暁士  | 札幌市本郷小 2年 清水 乃愛    |
| 札幌市屯田小 1年 佐久間悠斗   | 札幌市平岡公園小 1年 白岡 希湖  | 札幌市美香保小 3年 岡田 菜那   |
| 札幌市屯田小 1年 大坂 一心   | 札幌市平岡公園小 1年 朝賀 祐葵  | 札幌市美香保小 3年 本田 蒼琉   |
| 札幌市屯田小 1年 吉川 大晴   | 札幌市平岡公園小 1年 加藤 瑛茉  | 札幌市美香保小 3年 井上 湧晴   |
| 札幌市屯田小 1年 五十嵐心乃   | 札幌市平岡公園小 1年 合田 瞬   | 札幌市美香保小 3年 鈴木名 暁   |
| 札幌市屯田小 1年 岩田 絃希   | 札幌市平岡公園小 1年 三島 絵李  | 札幌市美香保小 3年 田中 寿怜   |
| 札幌市屯田小 1年 中村 麻人   | 南幌町南幌小 2年 川上 詩     | 札幌市美香保小 3年 佐賀 莉緒   |
| 札幌市屯田小 1年 望月 奏来   | 南幌町南幌小 2年 富樫 奈子    | 札幌市美香保小 3年 伊東 明莉   |
| 札幌市屯田小 1年 菊池 美晴   | 南幌町南幌小 2年 久保 岳     | 札幌市美香保小 3年 豊川 旭陽   |
| 札幌市屯田小 1年 本田 結士   | 南幌町南幌小 2年 山内 理緒    | 札幌市美香保小 3年 伊藤 里杏   |
| 札幌市屯田小 1年 宮本明希菜   | 南幌町南幌小 2年 福富 咲花    | 札幌市美香保小 3年 成田 小遥   |
| 札幌市屯田小 1年 野長瀬夏瑚   | 南幌町南幌小 2年 桑原 椋     | 札幌市美香保小 3年 藤田 香月   |
| 札幌市屯田小 1年 岡田 芽依   | 南幌町南幌小 2年 三島 愛理    | 札幌市美香保小 3年 藤田 晴生   |
| 札幌市屯田小 1年 村山 陽乃   | 南幌町南幌小 2年 奈良岡桔平    | 札幌市美香保小 3年 田中 琴子   |
| 札幌市屯田小 1年 松村 玲奈   | 南幌町南幌小 2年 佐々木琴美    | 札幌市美香保小 3年 宮内 貴翔   |
| 札幌市屯田小 1年 中島澄美空   | 南幌町南幌小 2年 山形 彩羽    | 浦臼町浦臼小 3年 静川詩乃音    |
| 室蘭市天神小 1年 高橋 佳花   | 南幌町南幌小 2年 南原 李玖    | 小平町小平小 3年 加藤 善久    |
| 恵庭市松恵小 1年 馬場 咲羽   | 南幌町南幌小 2年 角野 晴音    | 栗山町継立小 3年 田中 杏奈    |
| 札幌市平岡公園小 1年 飯田華乃音 | 南幌町南幌小 2年 南原 李玖    | 岩見沢市岩見沢小 3年 稲船ちゆり  |
| 札幌市平岡公園小 1年 坂入 航輝 | 南幌町南幌小 2年 四方田らん    | <b>奨励賞(小高)</b>     |
| 札幌市平岡公園小 1年 横山 彩夏 | 南幌町南幌小 2年 菅原 涼音    | 該当なし               |
| 札幌市平岡公園小 1年 白山 夏帆 | むかわ町鶴川中央小 2年 舛田 響流 | <b>奨励賞(中学)</b>     |
| 札幌市平岡公園小 1年 本間 勝翔 | むかわ町鶴川中央小 2年 三上 絃  | 該当なし               |
| 札幌市平岡公園小 1年 森 陽葉理 | むかわ町鶴川中央小 2年 堀川 優心 | <b>奨励賞(高校)</b>     |
|                   | むかわ町鶴川中央小 2年 佐藤 柚香 | 該当なし               |

## 日本の伝統文化を再発見し、未来へとつなぐ——。



# ポプラディアプラス 日本の伝統文化 全4巻

Traditional Japanese Culture

2026年  
**4月**  
発売!

- 1巻 衣食住 A4変型判 (29×22cm)
  - 2巻 祭り・行事・遊びなど 平均224ページ
  - 3巻 伝統芸能・伝統工芸など 揃定価: 43,120円(10%税込)
  - 4巻 学習資料集・索引 ISBN978-4-591-92229-3
- \* 分売不可

## ■第58回北海道学校図書館研修講座

日時：2026.1.6 会場：かでの2・7

## 『新たな学習指導要領の改訂に向けた議論の動向と学校図書館に期待される役割』

講演：文部科学省初等中等局教育課程課 主任教育企画調整官 高見英樹氏

## 講師紹介（北海道学校図書館協会 会長 小熊 剛彰）

高見英樹様は文部科学省に入省後、教科書検定・採択、高校・大学改革、副大臣・政務官秘書官等の業務に携わった後、岡山県教育次長、文部科学省高等教育局高等教育政策室長等を歴任され、令和7年（2025年）7月より文部科学省初等教育教育局 教育課程課主任教育企画調整官としてご活躍されています。主な著書には、『教育県岡山の復活に向けて』（悠光堂、2022年）、『それゆけ文科若手官僚！：地方と一緒に教育改革の種をまく』（千々布敏弥編、悠光堂、2022年）があります。

次期学習指導要領と学校図書館の役割をテーマとした本講演では、近年の社会変化や教育を取り巻く状況を踏まえ、これからの教育の方向性と学校図書館に求められる役割について、多角的な視点からお話いただきました。今後の学校教育における学校図書館の意義と可能性を改めて考える、大変示唆に富む内容でした。



講演は、①「近年の社会変化」②「教育を取り巻く状況」③「中央教育審議会への諮問」④「教育課程企画特別部会の論点整理」⑤「学校図書館に求められる役割」の5つの視点から構成されていました。

①「近年の社会変化」として、人口減少・少子高齢化、グローバル化、多様性の包摂の重視、労働環境の変化などがあげられました。人生100年時代において、基盤となる力を身に付ける必要性が示されるとともに、生成AIの知能向上やマルチステージの時代において、学びを「楽しい」と感じられることの重要性が強調されました。また、働き方や生き方を決める権利が個人に移行していること、人間ならではの力に重点を置くことは知識や経験を軽視することとイコールではないという指摘もありました。

②「教育を取り巻く状況」として、「みんなで一緒に」という学びの足場が弱まっている現状や、数学リテラシーや科学リテラシーは高い一方で、自律的に学ぶ力や、上手な学習方法が身に付いていない児童生徒が多いという日本の課題が示されました。読書時間の減少や、「等しい」の意味が分からないまま問題演習を行っている例から、理解が不十分なまま学習が進んでいる実態が紹介され、日常の出来事と学びを結び付けることの重要性についても触れられました。

③中央教育審議会への諮問では、質の高い深い学び、多様性への対応、教育課程の柔軟化、情報活用能力の抜本的な強化などが示されていることなど概要を説明していただきました。

④教育課程企画特別部会の論点整理では、「好きを育み、得意を伸ばすこと」や、「当事者意識をもって自分の意見を形成し、対話と合意ができる力を育てていくこと」の重要性が示されました。個別の知識・技能・思考・判断に加え、それらを社会でどのように生かすかを結び付けていくために、言語能力と情報活用能力が基盤となることが示されました。

⑤学校図書館に求められる役割としては、図書館らしい場を生かした活動の展開、学習センター機能の強化、ニーズの把握や関係機関との連携・協働、人材との協働、専門的職員や研修の充実、学校司書が専門性を発揮することの重要性が示されました。

講演の結びには、高見様とお子さんの会話を例に、言葉は本来豊かであるにもかかわらず、簡単な言葉に集約されがちである現状に触れ、伝統的な言葉を大切にしていきたいというお話がされました。

今回の講演を踏まえ、体験を通して本質を理解する力や、情報を選別する力を育むことの重要性を改めて感じました。そのためにも、発達段階を踏まえながら、学校図書館を学習センターとして積極的に活用し、読書や調べ学習を通して、子どもたちの基礎的な力を小さいうちから育てていくことが大切であると考えました。読書を通して、子どもたちの豊かな心と学ぶ力を育てていきたいです。高見様、貴重な御講演をありがとうございました。

〔北海道学校図書館協会 研究部 宮本さやこ（札幌市立澄川南小学校 教頭）〕

## 第58回北海道学校図書館研修講座・参加者の声

## 「学習指導要領の改訂を見据えた学校図書館の在り方」

北海道中標津支援学校 教諭 清水 玲 香

今回研修講座を受講するにあたり、学校図書館の運営方法や学習への活用について学びたいと考えました。お薦めの書籍や掲示の工夫などを知ることができるのではないかと予想しており、実際に様々な実践について先生方から御紹介いただきました。

文部科学省の高見英樹様の講演「新たな学習指導要領の改訂に向けた議論の動向と学校図書館に期待される役割」を拝聴し、これからの学校図書館の在り方について、新たな知見を得ながら考えることができました。特に学習の基盤となる言語能力と情報活用能力、この2つを育成するための“知の拠点”としての役割が学校図書館に求められているという内容から、学校図書館の重要性を再認識しました。改めて書籍など実物資料とICT機器、双方の活用方法や取扱い方を子供たちが身に付けるための、学校図書館の情報センター・学習センターとしての役割について考えることができました。

そのICT機器の活用につながると考え、選択講座は原口直先生の「生成AIと著作権」、井上陽子先生の「情報活用能力の育成指導～確かな情報を」をそれぞれ受講させていただきました。生成AIは正直に言うところ「使えるようになる必要はあるけれど、良く分からない。」という思いでした。しかし本研修を通じて、教育現場での活用方法や注意点を具体的に捉えることができたことは、私にとって大きな学びの一つでした。また度々報道で目にする、教育現場における著作物の扱い方、著作権の教育について、自校に戻ったらすぐに実践や確認をしていきたいと感じる学びが多くありました。

実践討議は特別支援のグループに参加し、安田亮介先生の実践報告を伺い、他の先生方との交流を持つことができました。報告では活動のきっかけ作りや人間関係の構築に学校図書館を活用している様子を伺い、自己の実践の組立て方にも参考にさせていただきたいと感じました。

貴重な場を設けてくださったことに感謝いたします。

## 第58回北海道学校図書館研修講座・参加者の声

## 多くの学びを得た2日間

北海道拓北養護学校 竹田 雪 絵

日頃抱えている課題の解決策や他校の運営状況、今後の図書館として求められるもの・必要なことなどを学びたいと思い、このたび初めて研修講座を受講しました。

講演では、新学習指導要領で学校図書館・司書教諭の役割が明記されることで、いくつになっても自ら学ぶことができる力、時代の変化や環境に柔軟に対応していくことができる力、多様な考え方や生き方をしている他者と協働することができる力、そして正しい情報の取捨選択ができる力、これらすべての力に必要な言語能力の向上に最も寄与する読書活動の中核を担う読書センター・情報センター・学習センターとしての図書館の可能性の広がりと重要性を再確認しました。

選択講座「読書にいざなう！仕掛け作り」では、自校で試せる仕掛けを一つ持ち帰るということを目指すゴールとし、4～5名で1グループとなり交流を行いました。講師の方による「仕掛け」が巧妙で、和気藹々とした雰囲気の中で、グループ内はもちろん他グループの方々とも楽しく交流することができました。「学校図書館BASIC～図書館運営のアウトライン」は学校図書館運営の基本を、最新の情報を基に時代に即した形にアップデートする良い機会となりました。本講座には学校司書の方も多く参加しており、学校司書が配置されている学校は、さまざまな取り組みを行っている印象がありました。司書教諭と学校司書、そして館長である校長の情報共有と連携の重要性を感じました。実践討議「図書館メディアの活用とその指導～特別支援」では、感情を言語化することの重要性とそれに役立つ本が大事な教材となることを確認し、感情をコントロールし自己肯定感をあげるための取り組み方法と、それらに有効な図書を参加者からたくさん紹介してもらうことができました。

今回講師の方々や参加者に皆さんが日頃取り組んでいる実践や事例から学んだことを、本校の学校図書館運営に役立てていきたいと思っております。

第46回北海道学校図書館研究大会  
帯広・十勝大会に参加して

## 「絵本から奏でる音を聞く」

函館市立赤川中学校 司書教諭 三浦 江利奈

この度、北海道学校図書館研究大会帯広・十勝大会に参加し、「特別支援教育 読書センター」分科会Ⅱの司会を務めさせて頂きました。昨年度、苫小牧大会にて提言発表をさせて頂き、今回で2度目の大会参加となりました。授業者の方、提言者の方々、そして参加された皆様との熱心な研究討議は、大変豊かで貴重な機会であり、私自身、また1つ学びを深めることができました。

「特別支援教育 読書センター」では、特別な支援を必要とする児童生徒の情操に直接はたらきかける様々な図書の活用内容が詳しく紹介されました。公開授業では、素晴らしい絵本の世界に、授業を受けた子ども達と共に、参加した皆様もぐんぐんと引き込まれ「ことば忍法 オノマトペ」の世界を体験し、絵本がどンドン奏でる「楽しい音」が聞こえてきたのではないのでしょうか。

授業の振り返りで「すごく楽しかった!」と子ども達からは、教師冥利に尽きる最高の一言が自然と飛び出していました。絵本を通して、言葉がもつ音やリズム、速さや力を感じ取り、そこから言葉の面白さや素晴らしさに気づきます。そして絵本を心から楽しむことができれば、きっと何度も何度も手に取り読みたくなる、読書が大好きになる、心が豊かになる、誰かに思いを伝えたい、と繋がりが育んでいくことを改めて体感することができました。

さて、函館から帯広まではJRで乗り換えや遅延などのワタワタを含め8時間ほどかかりましたが…道内各地の参加者の方々と実際にお会いして、図書館情報や運営状況、日々の特別支援の授業実践などを交流できたことを大変嬉しく思います。帰りの夜のJRは、たくさんの鹿達に見送られました。減速して鳴り響く鹿笛の音色が、まさに「オノマトペ」の世界でした。素敵な思い出をありがとうございました。

第46回北海道学校図書館研究大会  
帯広・十勝大会に参加して

## 「メディア」の海を生き抜くための図書館活用

函館市立本通小学校 教諭 松倉 翔太

今回、学校図書館や地域図書館を核とした情報活用能力育成の取組について提言をまとめる機会をいただき、大変ありがとうございました。GIGAスクール構想の推進により、子どもたちが受け取る情報量は急増し、媒体も多様化しています。しかし、情報をどこから得るかを選ぶこと、得た情報を見極め、整理し、活用する力には個人差が大きく、特に低学年からの段階的な指導の重要性を痛感しています。

低学年ではまず、「本や図書館に親しむ」活動に力を入れました。函館市中央図書館と連携し、実際に図書館で調べ学習を行うことで、子どもたちが主体的に情報資源へアクセスする経験を積むことができました。学びの入口が広がり、子どもたちが活発に学び合う姿を見られたことは大きな成果でした。

一方、高学年では、情報を分析することの奥深さを再認識しました。国語科の教材を活用し、新聞記事・図書・映像など複数のメディアを比較分析する学習では、「見出し」「写真」「グラフ」といった要素がどのようにつくられ、どのように伝わるかに多くの児童が気付きました。図書を起点とする学びが、情報の「つくられ方」や「伝え方」を読み解く力を確実に育てていると実感した瞬間でした。

ただ、情報の真偽を見抜く力や、発信者の意図を読み、多角的に比較検討する「批判的リテラシー」は一つの教科、単元で育めるものではありません。目的に応じた情報を集めるだけでなく、深く読み解き、学びに活かす力を、系統的に育てていく必要があります。

今後は、学校図書館を「本が置いてある場所」から、教科横断的な学びが交差する「学びの交差点」へと機能を転換していくことが求められます。そのために、指導のねらいを教職員間で共有し、段階的・継続的に育成する体制を整えていくことが重要です。こうした実践の積み重ねこそが、未来を生きる子どもたちの情報活用能力を育て、図書館の価値をさらに高めていくと信じています。

最後になりますが、ご多忙の中ご協力くださった皆様に、心より感謝申し上げます。

第46回北海道学校図書館研究大会  
帯広・十勝大会に参加して

## 「私の仕事はなんて尊いだろう!」

北見市立南小学校 教諭 米村 直子

十勝晴れの十月。北海道学校図書館研究大会帯広・十勝大会に参加させていただきました。二日間の学びは、一つの物語のように、新しい気づき、新たな挑戦への意欲などを与えてくれ、私にとっての心の栄養となりました。そして、何度も「私の仕事はなんて尊いだろう!」と胸が熱くなりました。

授業・分科会は「学習センター」に参加しました。授業、提言ともに、「資料の信頼性」について深く考える機会をいただきました。デジタルとアナログのベストミックスを探りながら用意する資料、それらの資料の扱い方、日常的な子どもたちとのやりとり（その情報の信頼性はA?など）の中で、「資料の信頼性」にこだわることの大切さを学びました。そして、信頼性にこだわることで、子どもたちを信頼される発信者・受信者として育てることができる!と、自分の仕事の尊さに気づきました。

また、セッションでは、子どもと本をつなぐ幕別町立図書館の取り組みについて学びました。こんなことができたらいいな。と私の理想の形にたくさん出会うことができ、「やってみたい!」が広がりました。

あべ弘士さんの講演では、いくつかの絵本の読み聞かせの中で、「このよでいちばんはやいのは」という本が一番印象に残りました。その本から受け取ったのは、「いちばん大切なものは想像力。それをずっと大切にしよう。」というメッセージでした。想像力を育てるために、大きな役割を果たすのが言わずもがな学校図書館。学校の中で、こんなに素敵な仕事に関わって、子どもたちの一番近くにいる、毎日想像力を育てるサポートができるなんて、こんなに尊い仕事はない!と、次から次へと涙がこぼれてきました。

この二日間の学びは、私にとって、自分の仕事への誇りを実感させてくれる素晴らしい時間となりました。このような貴重な学びの場を用意してくださり、本当にありがとうございました。私もいつか、誰かの心の栄養になれるような、素敵な実践を積んでこの場に戻ってきたいです。



2025年度(令和7年度)北海道の先生がおすすめする本

# 北海道指定図書

## 小学校低学年の部(1・2年)



### なんていいひ

リチャード・ジャクソン/文 スージー・リー/絵  
東直子/訳 小学館 1,980円

雨が降る中、子どもたちは大はしゃぎ。雨が止むにつれ、辺りが色とりどりに包まれ…。『美しい一日』を描いた一冊。



### チョウになりたい

マルク・マジュスキ/作・絵 吉井知代子/訳  
金の星社 1,760円

チョウになっている自分が好き。それをからかう子たちもいて嫌になることもあるけど、パパが応援してくれているから…。



### くじらのいるこみち

塩野米松/文 はたこうしろう/絵  
農文協 1,650円

住宅街の外れにある土の道。近所に越してきたゆかちゃんはこの道が大好き。雨のあと、水たまりにたくさん魚があらわれて…。



### ぞうのうちはまわる

重松彌佐/文 しろべこり/絵  
新日本出版社 1,540円

4頭ぞうのうんちの量は1日でなんと400キロ。うんちをたいひにかえて、動物園には緑がしげり、野菜が育つ。

## 小学校中学年の部(3・4年)



### いつも仲間といっしょ エナガのくらし

東郷なりさ/作 江口欣照/写真  
文一総合出版 2,200円

エナガは身近な公園でも見られる五百円玉ほどの重さのかわいい小鳥。ちょっと変わった暮らしをのぞいてみましょう。



### 動物の義足やさん

沢田俊子/文  
講談社 1,650円

作った装具は3万匹分。専門家がいらない中、動物のための装具づくりにチャレンジしてきた島田旭緒さんの活動をご紹介します!



### タケシのせかい

室井滋/文 長谷川義史/絵  
アリス館 1,650円

秘密の箱を開けると、パパからの手紙が。いろいろな人がそれぞれを認め合うことに気づく。「ウェルビーイング」の絵本。

## 中学校の部



### わたしは食べるのが下手

天川栄人/作  
小峰書店 1,760円

会食恐怖症と摂食障害。二人の少女がたどり着いた正しい「食」との向き合い方とは。わたしたちが望む給食って何だろう?



### 光の粒が舞いあがる

蒼沼洋人/著  
PHP研究所 1,430円

母子家庭で何事にも打ち込めない心愛と、父子家庭でボクシングにしか打ち込めないこはく。出会いと成長の青春小説。

## 小学校高学年の部(5・6年)



### ブルーラインから、はるか

林けんじろう/作 坂内拓/絵  
講談社 1,540円

ほとんど話したこともない後輩からの頼みは、「しまなみ海道」をチャリで渡りきる。夏を駆け抜ける青春ロードノベル!



### ぼくとロボ型フレンド

サイモン・パッカム/著 千葉茂樹/訳  
あすなる書房 1,980円

過度の心配性や不登校の児童の気持ちがりアルに描かれ、彼らが演劇を通して成長していく感動の物語。



### ぼくたちのことをわすれないで ロビンギャの男の子 ハールンのものがたり

由美村 嬉々/作 鈴木 まもる/絵  
佼成出版社 1,650円

故郷のミャンマーで迫害を受け、隣国バングラデシュの難民キャンプに暮らすロビンギャの人びとの現状を伝えます。

## 北海道の本を読みましょう!

第71回 青少年読書感想文コンクール 第51回 北海道指定図書読書感想文コンクール

■主催/北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社

■後援/北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会

■選定協力/北海道読書推進運動協議会



感想文は夏休み明けに、学校に出してください。詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。 ●ホームページ [北海道学校図書館協会](#) [検索](#)

## 学校図書館情報

### ◆2026年度北海道学校図書館協会 定期総会開催

日時：2026年5月9日（土）

場所：かでる2・7

多くの関係者の皆様にご参会いただけますよう、ご予定をお願いします。

### ◆第71回青少年読書感想文全国コンクール表彰式

表彰式は、2月10日（火）に行われました。

今回の全国コンクールでは、北海道からの受賞者はありませんでした。

これまで各支部の取りまとめや審査に協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。次回のコンクールにおいても子どもたちのために皆様のお力添えをお願いいたします。

### ◆第58回北海道学校図書館研修講座終了

今年も学校図書館研修講座を盛会のうちに終了いたしました。参加者数143名。開講式に続いて、文部科学省初等中等局教育課程課 高見英樹氏による共通講座が行われました。現代社会の実態から、教育・学校図書館を取り巻く現状と展望について、具体的な指標を基にご講義くださいました。新たな学習指導要領の改訂に向けての動向をつかむことができました。また、指導者研修講座（第63回全道部研究長会）、各選択講座まで、充実の内容であったことをご報告いたします。

### ◆第45回全国学校図書館研究大会札幌大会

いよいよ、令和8年8月10～12日札幌大会が開催されます。昨年11月29日には第1回実行委員会を開催しました。各担当ごとに、業務の内容が明らかになり、研究大会当日が具体的に見えはじめました。

また、記念講演は、余市町出身 日本人初の宇宙飛行士 毛利衛氏 にお引き受けいただくことに決定しております。他にも多様な講演を依頼しております。大会ボランティアも広く募集しております。北海道SLA関係者の皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。

### ◆「北海道の読書」の販売について

1月に読書感想文コンクール作品集「北海道の読書」の発送作業を終えました。小学生から高校生までの作品を一冊にまとめた形での発刊としております。まだ残部がありますのでお声がけいただき、追加注文がありましたらお申込みください。

## 事務局

事務局長 山口 朱美 (札幌市立福井野小学校教頭)

事務局校 札幌市立福井野小学校

〒063-0012 札幌市西区福井6丁目11番1号

TEL 011-664-5551 FAX 011-661-9471

## Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

## キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15

TEL (011) 857-3331

FAX (011) 857-5211

### ◆新刊紹介

## 『蛾のおっさんが聞く 図書館のもやもや 35』

山本みずほ・野口久美子・

野口武悟 著

発行 株式会社 郵研社

定価 2000円＋税

ISBN978-4-907126-79-7 C0095

初版発行 2025年11月27日



好評、「蛾のおっさんシリーズ 第2弾」

蛾のおっさんが、蛾（が）んばって、地道に全国を飛び回り、仕入れた情報が満載。

学校図書館を今より良い状況にしたい!!「蛾のおっさん」(蛾のおっさんとは、著者みづほ先生の友人)が聞く、35のもやもやに3人の先生方が答えてくれる。

## 編集後記

今年度も機関紙4回を発行することができました。また、例年通り、「読書感想文コンクール」「読書感想画コンクール」「研修講座」等の事業を展開することができました。道教育長様はじめ教育局・教育委員会様、北海道学校図書館協会各支部にて業務にあたってくださっている皆様、毎日新聞社北海道支社様、各協賛企業の皆様他、多くの関係の皆様に支えられながら協会の業務運営が成り立っていること、心から感謝申し上げます。

本年8月の学校図書館研究大会札幌大会開催まで、あと、約170日程となりました。皆様より、ご協力をいただき、盛会となりますよう、今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

(編集：村山 知成 野村 邦重)  
大久保 雅人 山口 朱美)

ホームページアドレス

<https://hokkaido.sla.gr.jp>